

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	建設機械施工における技術の向上の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度/25年度		担当課室	公共事業企画調整課		課長 尾藤 勇		
会計区分	一般会計		施策名	33 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	安全・安心のためのソフト対策推進大綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の建設業を支える専門工事業の技能者については、団塊世代の大量退職・少子高齢化による担い手不足、公共工事の減少による技能者育成の場の減少等により、とりわけ、災害時に活躍する無人化施工等の高度な施工技術を有する有能な技能者の確保が課題となっている。また、近年建設業の生産性や施工の安全性等の向上を目的としたICT建設技術が普及しつつあるが、新たな技術に対応できる技能者が不足していることから、更なる普及を目指してこれら技能者の育成を推進し、建設機械施工全体の技術の向上を図るものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当該施策の具体的な方策として、専門技能育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能習得に意欲的な若手に技能習得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討する。また、育成した技能者の技能達成度評価を行い、高度な技能を有する技能者を大規模災害時や特殊な環境下での工事において活用を図るための環境整備を行う。 昨年度は、無人化施工機械を使った模擬作業試験を行い、経験の違いによる技能の差の検証を行った。 今年度は技能達成度を評価するための評価方法の開発に向けて、評価指標と判定基準の策定の検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	16	27	19	
	執行額	-	-	14				
	執行率(%)	-	-	90%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)
	高度な施工技術を身につけた技能者数			成果実績	人		-	1000
				達成度	%		-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	高度な技能者の育成を行う仕組みの創設についての検討を行うものであり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。			活動実績 (当初見込み)				
単位当たりコスト	-			算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1百万円	0.8百万円	事業内容を精査し、技能者活用の環境整備に関する検討範囲を限定することによる減額				
	職員旅費	0.7百万円	0.7百万円					
	委員等旅費	0.4百万円	0.4百万円					
	社会資本整備・管理効率化推進調査費	25百万円	18百万円					
	計	27百万円	19百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本業務の入札参加条件として、本業務の同種または類似業務の実績を有している必要があるが、実績を有している業者が68社以上存在していることから業務実績の条件緩和は行っていないが、平成22年度の発注において入札参加者が2者であったことから、本年度の発注においては、より競争性を確保するために公募期間を1.5倍に延長している。 また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議いただいている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ② ⑤	<p>入札参加者が少ないため競争性の向上に努める必要がある。また、一定の事業成果が得られた段階で適切に検証を行う必要がある。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算執行については、参加条件の緩和を行い、競争性の向上を図る。また、一定の事業成果が得られた段階で適切に検証を行う予定である。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

国土交通省
14百万円

諸謝金0.04百万円

専門技能者育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能習得に意欲的な若手に技能習得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討する。

【企画競争入札】

A

(社)日本建設機械化協会

無人化施工の模擬作業試験を行い、通常型施工と無人化施工の施工効率の違いやオペレータの無人化施工の経験の違いによる技能の差を検証した。

A. (社)日本建設機械化協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	人件費	12.160			
試験費	試験費	2.159			
その他	旅費・諸謝金等	0.066			
計		14.385	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本建設機械化協会	無人化施工に必要な技能の特徴の抽出と経験の違いによる技能の差の検証を実施	14.385	2	99.44%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					